

たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.66

2013.3

くしろ丹頂



根釧牛乳をPR!! (青年部鶴居支部・鶴居村タンチョウフェスティバルにて)

C O N T E N T S

- 釧路丹頂農業協同組合 酪農振興会「酪農祭」 ————— 1
- チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム ——— 2
- 青年部 音白支部「音別町・北のピーナス冬まつり」で根釧牛乳をPR
鶴居村タンチョウフェスティバル ————— 3
- 釧路管内酪農セミナー / 家畜販売市況情報 ————— 4
- 普及センターだより ————— 5・6
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 退職者挨拶 ————— 7



酪農振興会「酪農祭」竹中憲之会長 挨拶

4支部合同・酪農振興会「酪農祭」開催!!



講演を熱心に聞く会員の皆様



講演の様子 右：永井 照久 講師

二月十四日、釧路のホテルマ
ーシユランドで当JA酪農振興
会四支部合同の酪農祭が開催さ
れました。

組合員及び各関係者合わせて
六十四名が参加し、釧路農業協
同組合連合会 生産振興課酪農
技術支援室長の永井照久氏を講
師に迎え、「低コスト酪農と収
益性の向上について」をテーマ
に講演が行なわれました。

生産性とは何か、生産性向上
への主眼が重要となり、ムダ（ロ

ス）のコントロール、生産性を
阻害する諸要因、全体の最適化
（部分を最適化しても、全体に
貢献できるとは限らない。ポト
ルネックはどこにあるのか。）、
乳牛飼料の内訳、粗飼料の品質
とパワーなどについてわかりや
すく解説し、参加者たちは真剣
に聞き入っていました。

そして、講演会終了後には懇
親会が行なわれ、会員同士が情
報交換などをしつつ、酪農祭は
盛会裏に終了しました。



チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム



講師：ホクレン畜産技術
実証センター
生産技術課長
尾形 正貴 氏



講演「粗飼料の違いが産乳に与える影響」

三月四日、釧路全日空ホテルで、チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウムが開催されました。

釧路地区酪農対策協議会、釧路農業協同組合連合会主催により、管内の酪農家や各関係機関から約百七十名、当JAから組合員・職員合わせて十八名が参加しました。

JA北海道中央会根釧支所千葉耕平氏による、「釧路管内生産規模別生乳生産費調査結果について」と題した事業実施報告では、77戸（管内の約8%）の酪農家を対象に、生乳生産費の調査を実施し、管内酪農の経営の現状と課題、今後の経営改善への活用などについて報告がありました。

畜産振興課草地整備推進室課長補佐 松田正勝氏は、「平成25年度農業予算における自給飼料生産に向けた事業の概要について」と題し、配合飼料価格に影響を与える要因と対策、国産飼料基盤に立脚した生産への転換、草地等の生産性向上、畜産関連の主な対策事業などについて説明がなされました。

※チャレンジ60「946運動」とは、
①乳量9kg／頭以上 ②牧草4kg／10a以上
③牛乳生産コスト60円／kg以下を目標に酪農経営の効率化を目指し、管内全体で取り組んでいる運動です。

青年部 音白支部「音別町・北のビーナス冬まつり」で 根釧牛乳・ホットココアの無料試飲を実施!!



体が温まるホットココアは大変好評!!

二月十日、音別町カナヤ製鋼グラウンド特設会場で、北のビーナス冬まつりが開催されました。

今年で十回目となる同まつりには、子供から大人まで多くの来場者が訪れ、おでんやラーメン、から揚げなどの屋台村が開設された中、青年部音白支部は、よ

つ葉特選根釧牛乳及びホットココアを無料で配布し、体が温まるホットココアは大変好評でした。

また、会場には冬ならではの雪の大きな滑り台や、氷上人間ばんば、雪中宝探しなどが行なわれ、大変盛況のうちに終了しました。

鶴居村タンチョウフェスティバル 青年部 鶴居支部「根釧牛乳の無料試飲」 女性部 幌呂支部「ぶた汁」を販売!!



おいしいぶた汁は好評でした!!

二月十日、鶴居村総合センター前庭野外ステージでは、第二十六回鶴居村タンチョウフェスティバルが開催されました。

会場には、家族連れや多くの来場者で賑わい、テント屋台などが並ぶなか、青年部鶴居支部は、根釧牛乳の無料試飲を行ない、温かいホットミルクを提供

し、大変好評でした。女性部幌呂支部は、ぶた汁を格安で販売し、美味しいぶた汁にお客様から大変好評でした。

また、タンチョウ鳴き声コンテストや氷上綱引き、タンチョウウルトラクイズなど様々な催しが行なわれ大変盛況でした。

釧路管内酪農セミナー開催される



講師：愛知県(有)あかばね動物
クリニック代表取締役
鈴木 保宣 氏



二月十三日、当JAで釧路管内酪農セミナーが開催されました。釧路農業協同組合連合会、釧路地区乳牛検定組合連合会主催により、管内の酪農家及び各関係機関より五十四名、当JAより組合員・職員合わせて十六名が参加しました。

愛知県(有)あかばね動物クリニック代表取締役鈴木保宣氏を講師に、「蹄病コントロール」をテーマとした講演が行なわれました。

蹄病の原因とその対策、理想的な畜舎構造など、乳牛へのストレスを軽減し、できるだけ蹄への負担を減らす方法、そして蹄病とは様々な要因が複数に絡み合って発生している事などについてわかりやすく説明し、学ぶ事の多いセミナーでした。

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

25年3月1日現在

(単位：千円)

規 格		種 別	登 録 牛	
			上	中
育 成（8～12ヶ月）		350	～	280
初 妊		580～550		550～520
経 産	2 産 ～ 3 産	350	～	300
	4 産 ～ 5 産	300	～	250

初生とく

25年3月11日現在

規格	単価
61kg～70kg	都度協議
45kg～60kg	1,150円/kg
40kg～44kg	1,050円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種

25年2月12日音更市場

(価格：円・体重：kg)

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	706頭	668,850	89,250	381,303	288	1,326
	去勢	938頭	735,000	109,200	477,407	305	1,563

(提供／ホクレン帯広支所)

表1 第一胃内細菌の至適pHと世代交代時間

種類	至適 pH	世代交代時間
繊維分解菌	6.3-6.8	8-10時間
タンパク分解菌	6.0-7.0	4-8時間
デンプン分解菌	5.5-6.5	15-30分

飼料給与セミナー 09/05/25
スニッフェンより（一部改変）

第一胃内には様々な微生物が共生しており、第一内の環境を安定した状態に作り上げています。一度に大量の濃厚飼料が給与されると、表一に示すように、酸に強いデンプン分解菌が優勢となり、第一胃内のpHが低下します。

① 第一胃の環境を安定させましょう

エサの給与内容を急に変更すると、食滞や乳量・乳成分の低下を招くだけでなく、疾病を引き起こす場合もあります。特に穀類等の濃厚飼料を増給する場合には注意が必要です。

濃厚飼料の増給について

一方、繊維分解菌やタンパク分解菌はデンプン分解菌とくらべ、世代交代時間（増殖して倍の数になる）時間が長いです（表1）。そのため、一度その数が減ってしまうと、なかなか元に戻りにくくなります。

したがって、濃厚飼料を増給するときは、エサの食い込み、反芻、乳量・乳成分などをよく観察し、徐々に増すようにしましょう。

② デンプンを多く含む濃厚飼料の増給

乳牛が次のような状態の場合はエネルギー不足が疑われます。

- ・乳牛が痩せている
- ・飛節が腫れている
- ・放牧草や高水分サイレージを給与して糞が軟らかいとき
- ・発情兆候が弱い、見せない
- ・乳タンパク質、無脂固形が低い
- ・乳中尿素窒素（MUN）が高い

このようなときは、とうもろこしや大麦など、デンプンを多く含む濃厚飼料を給与し、エネルギーの充足をはかりましょう。



写真1 仕切りを付けた給餌運搬車

図1の増給イメージは、飼料設計にもとづき、デンプンを含む濃厚飼料を一頭当たり3kg増給することになった現地事例を示しています。

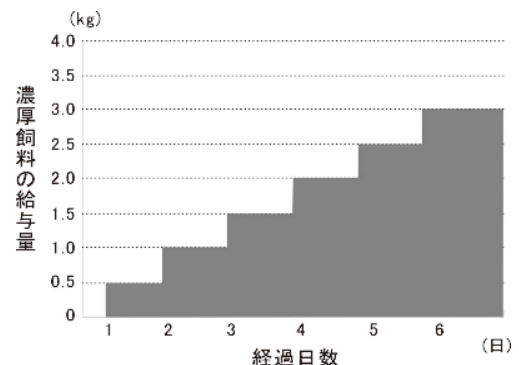


図1 デンプンを含む濃厚飼料の増給イメージ（現地事例）

写真は、複数の濃厚飼料を給与するため、給餌運搬車に仕切りを付けた事例です。こうすると、一回の給餌作業で数種類の濃厚飼料を給与することが可能となります。とくに分離給与で、デンプンを多く含む濃厚飼料を上手く増給している、現地事例を示します。

ポイント① 増給の速さ

三〇〇〜五〇〇g/日/頭
※作業を簡略化する場合は二三日で一・〇kg程度増給

ポイント②

粗飼料をしっかり食い込んでいることを確認する
※食滞や反芻の低下、急な軟便などの異常が見られたら、粗飼料の食い込みが回復するまで濃厚飼料は増給しない

みなさんの農場でも、濃厚飼料を増給するときにはご注意ください。

離乳後の

子牛の管理

離乳後の子牛（三ヶ月齢）は「個」の管理から「群」への管理に移行する時期で、様々なストレスがかかりやすい状況です。

移行時には健康や発育に影響を及ぼすようなストレスを発生させないようにしましょう。

◆子牛の発育と特徴

出生後から五ヶ月齢までの期間は急激な成長をします。（図1）

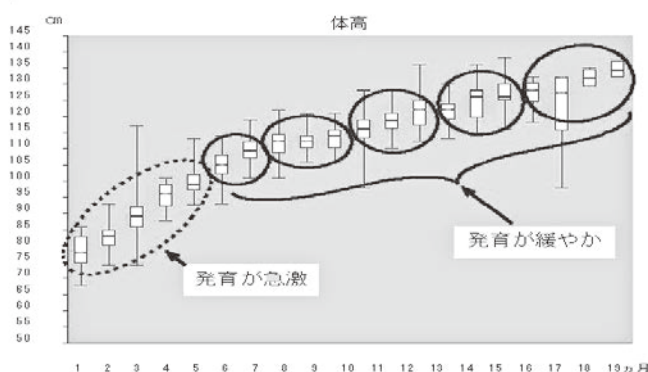


図1 育成牛の発育（H19 普及セン釧路中西部支所資料より）

特に、環境の変化によるストレスの影響を受けやすい移行時期には、「群」管理に慣れるまで少数のグループから段階的に馴らし、虚弱な育成牛をつくらないようにしましょう。

◆移行時期のストレスを 押さえるポイント

(1) 離乳済みの元気な

子牛を選ぶ

月齢や体高の揃った元気な子牛を少数（二〜三頭）選び、離乳ストレスを抱えたまま移行させないようにしましょう。

【移行対象子牛】

★1日当たり

- ・代用乳を1kg以上
- ・水を8kg以上
- ・採れていること

※月齢が同じでも発育不良や虚弱な子牛は、移動を遅らせる。

(2) 移行初期の子牛は

念入りの観察が必要

移行直後の子牛の体力消耗に即対応できるよう、人がよく観察出来る給湯施設近くのペンに、二〜

三頭ずつ一緒に入れましょう。

(3) ペン移行は群で

段階的に移行する

子牛の成長に伴い広いペンへ移動するときは、同居の子牛を一緒に除糞出口側に近いペンへ順次移行しましょう。（写真1）

※「食い負け」や「いじめ」防止のため、使用中のペンへの追加移行は避ける。



写真1 旧牛舎の改造による快適な移行期専用育成舎（手前3ペンが移行直後の子牛専用）

(4) 育成牛としての

集団飼育馴らし

群管理に慣れてきた頃（四〜五ヶ月齢牛）、二〜三ペンの子牛を一緒にし、五〜六頭の増頭飼育に馴らしましょう。（写真2）

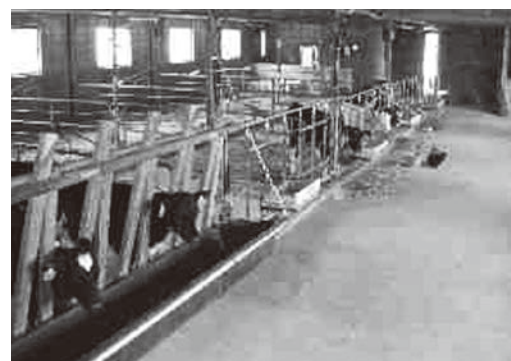


写真2 水と乾草の常設された模擬スタンション付5ヶ月齢ペン

※「食い負け」慣れた牛をつくらなく、六頭飼育を上限に頭数分の寝床と飼槽幅スペースを用意する。

【快適な空間面積】

★一頭あたり

- ・寝床面積 2.3〜2.8 m²
- ・給餌幅は 23〜30 cm
- （子牛の腰角幅）

最後に、移行期間中の子牛が快適な環境で飼養できるよう、既存施設など使用している場合は、換気に注意を払いましょう。また発育の妨げにならないよう、いつでも自由に採れる衛生的な水や飼料を常設しましょう。

理 事 会 報 告

2月定例理事会 平成25年2月22日（金）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 1月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について

付議事項

- 議案第1号 J A全国監査機構期中監査の結果に対する回答について
- 議案第2号 組合員の資格審査について
- 議案第3号 出資の減口承認について
- 議案第4号 大口信用供与先等に対する融資の承認について
- 議案第5号 農家経営支援対策の実施について

- 議案第6号 搾乳素牛増頭対策事業要領の制定について
- 議案第7号 草地改良促進助成事業要領の一部変更について
- 議案第8号 給油所未収金の償却について
- 議案第9号 理事会役員推薦委員の選任について
- 議案第10号 規程類管理規程の一部変更について
- 議案第11号 従業員に対する年度末賞与の支給について
- ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 平成24年度決算処理方針（案）について
2. 平成25年度事業計画（案）について
3. チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウムについて
4. 当面の業務日程について

■平成24年度	生乳生産実績（2月）			
	月計乳量（kg）	2月前年比（%）	累計乳量（kg）	累計前年比（%）
釧路丹頂農協	7,805,170.2	95.4	91,562,272.9	100.2
（鶴居地区）	2,572,707.4	94.2	31,073,604.1	102.4
（幌呂地区）	2,082,933.3	95.5	23,872,953.4	97.6
（白糖地区）	1,747,683.0	93.7	20,704,012.5	97.4
（音別地区）	1,401,846.5	99.8	15,911,702.9	103.7
管内計	42,032,831.2	98.0	492,618,913.7	100.9
（前年度管内計）	42,903,699.4		488,176,954.1	

大変お世話になりました。



鈴木 幸一

幌呂支所購買課
生活店舗考査役

この度、平成25年2月28日をもって釧路丹頂農業協同組合を定年退職いたしました。入組以来44年間本当にありがとうございます。

振り返ると、昭和43年7月旧鶴居村農協に入組後、クーラーステーションの牛乳缶の時代から始まり、そして、バルククーラーの導入、ミルクローリー、乳質改善の取り組み、生乳道外送り基地、Aコープつるい店、ほろろ店それぞれで勉強させて頂きました。

組合員の皆様方をはじめ、地域の皆様、役職員皆様方には永い間お世話になり、誠にありがとうございました。無事に勤めることができましたのも、皆様方のおかげと深く感謝しております。

なお、退職後は引き続きAコープほろろ店に勤務しておりますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りたく重ねてお願い申し上げまして在職中のお礼とご挨拶にかえさせていただきます。

（本職員は引き続き幌呂支所に準職員として勤務しています。）

編集後記
EDITOR'S NOTE

□ 釧路で開催された酪農シンポジウムに参加し、生乳生産費の調査報告及び畜産経営安定のため、飼料自給率の向上・草地植生改善の取り組みなど、今後に向けても大変ためになる講演を受けることができました。

□ 4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。年間スローガンの「ストップ・ザ・交通事故」（めざせ安全で安心な北海道）を念頭に置き、注意力を保った運転を心掛けましょう。